



うきよえどうぶつ館
Ukiyo-e Animal Museum
出張日本平動物園
Nihondaira Zoo on Tour

同時開催：
 絵で解くなぞなぞ 判じ絵の世界
 Second exhibition:
 The World of Hanji-e: Riddles Solved with Pictures

会期：2018年6月5日（火）～8月12日（日）
 Part1: 6月5日（火）～7月8日（日）
 Part2: 7月10日（火）～8月12日（日）

June 5 (Tue.) – August 12 (Sun.)
 Part 1: June 5 (Tue.) – July 8 (Sun.)
 Part 2: July 10 (Tue.) – August 12 (Sun.)

主催：静岡市東海道広重美術館
 (協賛：静岡県、静岡市、静岡市東海道広重美術館人・モノ・プロジェクト)
 協力：静岡市動物園、静岡市中央図書館、静岡市中央図書館、富士山かくし絵ミュージアム、紙芝居

Organizer: Shizuoka City Tokaido Hiroshige Museum of Art
 Designated Manager: NPO Hexaproject
 Cooperation: Shizuoka Municipal Nihondaira Zoo, Shizuoka Prefectural Central Library, Mt. Fuji Kakushi Eiga Museum, KASOMIAN

静岡市東海道広重美術館
 SHIZUOKA CITY TOKAIDO HIROSHIGE MUSEUM of ART

企画概要

江戸時代のどうぶつたちが美術館に大集合！出張日本平動物園「うきよえどうぶつ館」を期間限定で開館します。身近に生きるどうぶつから、物語の中に出てくるどうぶつ、着物や建物にデザインされたどうぶつまで。浮世絵の中に隠れたさまざまなどうぶつたちに出会える楽しい「うきよえどうぶつ館」にぜひお越しください。



静岡市東海道広重美術館

SHIZUOKA CITY TOKAIDO HIROSHIGE MUSEUM of ART



展覧会のみどころ (大展示室)

■ 浮世絵の中に描かれた動物たち ■

うきよえどうぶつ館で見ることのできるどうぶつたちは、実際の日本平動物園のどうぶつたちとは違い、エサが要らなければ、成長もしない、鳴いたり音も立てず、死ぬこともないという不思議などうぶつたちです。

身近に生きるどうぶつから、物語の中に出てくるどうぶつ、着物や建物にデザインされたどうぶつまで、一風変わった“動物園”を心ゆくまでお楽しみください。



猛獣館299:虎

落合芳幾「太平記英勇傳 加藤主計頭清正」
富士山かくや姫ミュージアム蔵 (Part2)



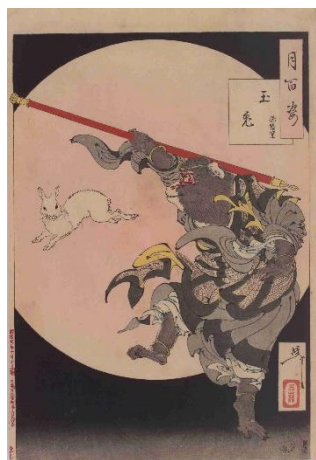
草食獣舎:馬

河鍋晩斎「東海道名所之内 加茂の競馬」
当館蔵 (Part1)



フライングメガドーム:鷹

歌川広重「名所江戸百景 深川洲崎十萬坪」
当館蔵 (Part2)



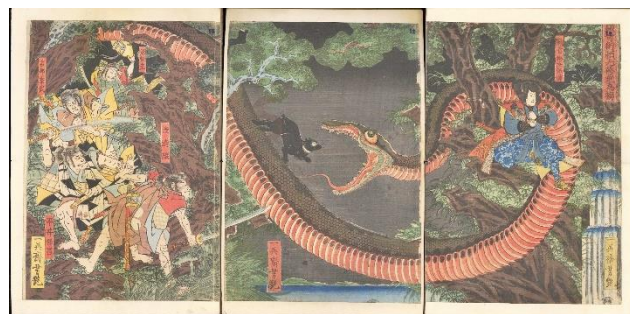
ふれあい動物園:猿・ウサギ

月岡芳年「月百姿 玉兔 孫悟空」
静岡県立中央図書館蔵 (Part1)



夜行性動物館:コウモリ

歌川広重「(月に蝙蝠)」
当館蔵 (Part1)



は虫類館:ヘビ

歌川芳艶「破奇術頼光袴垂為搦」
当館蔵 (Part1)



静岡市東海道広重美術館

SHIZUOKA CITY TOKAIDO HIROSHIGE MUSEUM OF ART

展覧会のみどころ （絵で解くなぞなぞ 判じ絵の世界）

①江戸の庶民と知恵比べ

出題された「絵」をよく見た上で判じ（解く・推理する）、答えを導き出す「絵で解くなぞなぞ」を判じ絵といいます。その判じ絵には食べ物や身近な道具など、様々なものが問題として登場します。隠された答えを導き出すことはもちろん、問題として描かれた絵のありえない状況の面白さにもご注目いただきながら、江戸の人々との知恵比べをお楽しみください。



歌川芳藤「新板植木のはんじもの」
蛇足庵蔵（通期）

■判じ絵に挑戦

ルール：①しゃれ

②逆さ読み

同音異義語を利用し、音を頼りに答えを導きます。

逆さまに描かれた絵は、逆から読みます。



[A]



[B]

解答

【A】松／逆さまの妻
(つま⇒まつ)



【B】椿／上半身だけの
鶴が箒で掃くに濁
点(つばき)



②判じ絵をつくってみよう！

江戸時代の判じ絵のルールにのっとり、オリジナルの判じ絵をつくってみましょう！テーマは名所（地名）、たべもの、いきもの、自由題の4つ。つくっていただいた作品は会期中、パネルにて掲示します。つくって、解いて、現代の判じ絵に挑戦してみてください。



作例) 鬼に鈴で“麒麟”



静岡市東海道広重美術館

SHIZUOKA CITY TOKAIDO HIROSHIGE MUSEUM of ART

展覧会関連企画

関連企画1／ワークショップ「ぐるぐるまわる“いきもの”とうろう」 Part2

江戸時代の夏の定番、回り灯籠のワークショップ。ご好評につき、今年も開催致します。「いきもの」の浮世絵を使って、オリジナルのくるくるまわる「とうろう」を作ってみましょう！

□日時：8月11日（土・祝）13:30～16:00

□対象：一般（小学4年生以上、中学生以下は保護者同伴）

□定員：10名

□参加費：1,000円（入館料込）

□申し込み：WEBサイト・電話にて申し込み（先着順※定員になり次第受付を終了します。）



関連企画2／当館学芸員によるギャラリートーク

□日時：6月17日（日）、7月22日（日） 13:00～13:30

□参加費：無料※入館料別途

当日当館エントランスホールにお集まり下さい。（申込み不要・定員制限無）

美術館概要

静岡市東海道広重美術館

静岡市東海道広重美術館は、江戸時代の浮世絵師、歌川広重の名を日本で最初に冠した美術館です。広重の代表作『東海道五拾三次之内』（保永堂版東海道）、『名所江戸百景』など、風景版画の揃物の名品を中心に約1400点を収蔵しています。浮世絵と現代作品をつなぐ企画展を開催するなど、「新たな浮世絵文化」の発信に力を入れています。



広重について

歌川広重（1797-1858） 浮世絵師

15歳頃に歌川豊広に入門。保永堂から刊行された『東海道五拾三次之内』が大好評となり、その後も風景を描いた浮世絵を制作し、名所絵師として名を馳せました。晩年の集大成ともいえる『名所江戸百景』を制作中、病に倒れ62歳の生涯を閉じました。広重の大胆な構図や抒情性豊かな作風は万人に愛され、国内外の作家に影響を与え続けています。



三代歌川豊国『広重死絵』当館蔵



静岡市東海道広重美術館

SHIZUOKA CITY TOKAIDO HIROSHIGE MUSEUM of ART

広報用画像提供のご案内

展覧会広報用として下記6点のデジタルデータをご用意しております。ご希望の場合はメールまたはファックスにてお申込みください。



1



2



3



4



5



6

□作品名およびクレジット

1. 展覧会ポスターイメージ ©Shizuoka City Tokaido Hiroshige Museum of Art
2. 落合芳幾 『太平記英勇傳 五十一 加藤主計頭清正』 富士山かぐや姫ミュージアム蔵
3. 歌川広重 『名所江戸百景 深川洲崎十萬坪』 静岡市東海道広重美術館蔵
4. 月岡芳年 『月百姿 玉兔 孫悟空』 静岡県立中央図書館蔵
5. 歌川芳雪 『(為朝猪を退治する図)』 静岡県立中央図書館蔵
6. 歌川広重 『(猫と鼠) (遊郭)』 静岡市東海道広重美術館蔵

〈使用条件〉

※作品写真の使用目的は、本展のご紹介のみとさせていただきます。なお、本展覧会終了後の使用はできませんのでご了承ください。

※ご使用の際には、画像のトリミングや、別の画像との合成、文字乗せ等とはご遠慮ください。

※各画像のキャプション及びクレジットを記名の上、ご使用ください。

※ご使用の際には、お手数ですが校正紙をEメール添付にて担当までお送りください。

※弊館での広報実績資料とさせていただくため、後日、掲載誌（紙）、URL、番組収録のDVD、CDなどお送りいただければ幸いです。



静岡市東海道広重美術館
SHIZUOKA CITY TOKAIDO HIROSHIGE MUSEUM of ART

『出張日本平動物園 うきよえどうぶつ館』

同時開催：絵で解くなぞなぞ判じ絵の世界

広報用画像データ申込書

静岡市東海道広重美術館 広報担当 行

FAX.054-375-5321 E-mail. info@tokaido-hiroshige.jp

■ご希望の作品番号にチェックをつけてください

- | | |
|---|----------------------|
| 1. ☐ 展覧会ポスターイメージ | |
| 2. ☐ 落合芳幾 | 『太平記英勇傳 五十一 加藤主計頭清正』 |
| 3. ☐ 歌川広重 | 『名所江戸百景 深川刈崎十万坪』 |
| 4. ☐ 月岡芳年 | 『月百姿 玉兔 孫悟空』 |
| 5. ☐ 歌川芳雪 | 『（為朝猪を退治する図）』 |
| 6. ☐ 歌川広重 | 『（猫と鼠）（遊郭）』 |

貴社名：

媒体名

ご担当者名：

TEL：

FAX：

E-mail：

画像到着希望日： 月 日 時頃 ※指定可能時間10:00～16:00

掲載予定日（コーナー名）： 月 日

※作品写真の使用目的は、本展のご紹介のみとさせていただきます。なお、本展覧会終了後の使用はできませんのでご了承ください。

※ご使用の際には、画像のトリミングや、別の画像との合成、文字乗せ等をご遠慮ください。

※各画像のキャプション及びクレジットを記名の上、ご使用ください。

※ご使用の際には、お手数ですが校正紙をEメール添付にて担当までお送りください。

※弊館での広報実績資料とさせていただくため、後日、掲載誌（紙）、URL、番組収録のDVD、CDなどお送りいただければ幸いです。



静岡市東海道広重美術館

SHIZUOKA CITY TOKAIDO HIROSHIGE MUSEUM of ART

美術館情報



開館時間：午前9時～午後5時（入館は閉館の30分前まで）

休館日：毎週月曜日（祝日の場合は開館、翌平日休館）

入館料：一般510円（410円）

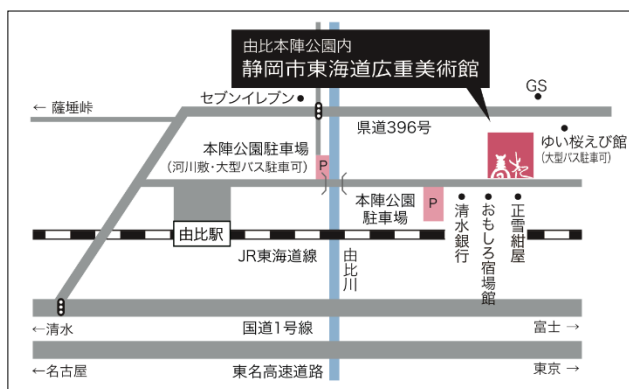
大学生・高校生300円（240円）

中学生・小学生120円（100円）

※静岡市在住または通学している中学生以下及び、
静岡市在住の70才以上の方は無料

※身体障害者手帳等をご持参の方及び介助者は無料

※()は20名以上の団体料金



【交通案内】

■電車をご利用の場合

JR東海道本線「由比」駅下車後 徒歩25分、タクシー5分

■お車をご利用の場合

美術館無料駐車場21台（由比本陣公園駐車場）

□大阪・名古屋方面から

東名高速【清水I.C.】から国道1号経由約20分

□東京・横浜方面から

東名高速【富士I.C.】から国道1号経由約25分

本展覧会及びプレスリリースに関するお問い合わせ

Tel 054-375-4454

Fax 054-375-5321

info@tokaido-hiroshige.jp

静岡市東海道広重美術館

〒421-3103 静岡県静岡市清水区由比297-1

[URL] www.tokaido-hiroshige.jp

[facebook] www.facebook.com/tokaido.hiroshige



静岡市東海道広重美術館

SHIZUOKA CITY TOKAIDO HIROSHIGE MUSEUM of ART